



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 408

Juli 2025

特定非営利活動法人 神戸日独協会

〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20

神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F

TEL/FAX 078-230-8150

E-mail: info@jdg-kobe.org

URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club

In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20

Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

暑中お見舞い

神戸日独協会会長 柘田 義一

猛暑の日が続いています。如何お過ごしでしょうか。暑中お見舞いを申し上げます。

先月からの盛夏を思わせる激しい暑さの毎日、局地的な豪雨、ゲリラ雷雨と今年の梅雨は近畿圏では異常さはありませんでしたが例年より早くに明けました。例年の梅雨・初夏とは異なり異常ともいえるものでした。同じ傾向はヨーロッパにも見られ、ドイツでは高温でライン川等の水位が低下して物資輸送に支障が出ているとか。原因として温暖化による種々の気候変動が挙げられています。温暖化は気象の分野だけではなく、特に昨年より農業生産や漁業分野へも強い影響を与え、食料品不足・高騰と日常食生活の負担が増大しています。このような時こそドイツをはじめヨーロッパでの気候変動・温暖化対策を参考にして喫緊の課題として温暖化を考えてみる必要があります。昨年来協会ドイツ語講座での毎週の Deutsche Welle 講読授業で、ドイツ国内でのポピュリズムの拡大、急進右派政党の台頭、各種のストライキとデモ、各種選挙戦、政権交代、インフレ傾向等々の報道記事から得た「ドイツの混迷」についてはこの会報にて述べさせていただきました。世界に目を転ずれば、ウクライナ戦争の長期化、イスラエルとその周辺地域での紛争の激化、トランプアメリカ大統領復活と専横的政治手法等々により、世界的にも大きな「混迷状態」に陥っています。日本でも異常気象に加えて諸物価の高騰、景気の低迷、各種選挙におけるポピュリズム的傾向の進展、外国人との共生、更に今回の参議院選挙結果による政治不安定化の様相等々、政治・経済・社会・生活上での「混迷化」がドイツの後を追うように起こっています。

この「混迷状態」を正しく理解し解決の展望を持つかが問われています。新年挨拶にて述べた「グローバル主義から保護主義へ、ポピュリズムの台頭、人工頭脳による産業・社会生活の変革、このような国際的な大きな流れをより正しく理解するためにも、民間の国際交流団体としての草の根的な活動を地道に積み重ねていくことの意義」を改めて会員の皆様と考えたいと思っています。

神戸日独協会主催



ビアフェスト2025



ビールジョッキを高々と、プロースト！
隣の人と腕を組んでシュンケルンしながら、ドイツのビアソングを！
ドイツヴルストを味わいながら、プロースト！

好評をいただいている夏恒例の行事「ビアフェスト」を開催します。今年も猛暑日が続いています。冷たいビールとビアソングで猛暑を乗り越えましょう。ご家族と一緒に、親しい友とともにビールを飲みながら、ビアソングを楽しみながら、楽しい一夜を過ごしましょう！お誘いあわせの上、ご参加をお待ちしています。

ドイツビアソング：アコーディオン演奏…平野新祐さん、歌…岩島佳子さん

日時：2025年8月9日(土)17:00～19:30

会場：ステーキ&ビアレストラン ロイン三宮店

(078-242-3611神戸国際会館南前のカーサグランデビル地下1階)

チケット：会員および同伴者6000円(同伴小・中学生2500円)、一般6500円

(食べ飲み放題、着席buffet形式)

定員：事前予約制60名(定員になり次第締め切り)

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------



Bierfest 2025



Ein Prosit, ein Prosit der Gemütlichkeit !
Eins, zwei, drei, g'suffa !
Prost !

Anfang August veranstaltet die Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kobe wieder ein „Bierfest 2025“ mit Musik (auch zum Mitsingen!).

◇Akkordeonist Herr Shinsuke Hirano und Singerin Frau Yoshiko Iwashima.

◇Datum : 9. August 2025 (Sam.) 17:00 — 19:30

◇Ort: Bierrestaurant „Roin“ in Sannomiya, Kobe

Casa Grande Kobe Building B1 F (Südlich vom Kobe International House)

(Isogami-Dori 8-1-19, Kobe-Chuoku)

◇Kosten: 6500 Yen (Mitglieder und Begleitung 6000 Yen)

近畿圏日独協会合同「大阪・関西万博2025」ドイツパビリオン訪問報告

報告者： 玉田龍太郎(会員)



令和7年(2025年)7月14日(月)、在大阪・神戸ドイツ総領事館様のご厚意により実現した「近畿圏日独協会合同『大阪・関西万博2025』ドイツパビリオン訪問」に、神戸日独協会を代表して参加してまいりました。本報告はその概要と所感を記すものです。

【訪問概要】

午前中はフランスパビリオン、アメリカパビリオンを見学し国際的な展示に触れた後、午後2時よりスタッフ David 氏のご案内でドイツパビリオンを見学。その後、パビリオンラウンジにて関係者との懇談の機会を賜りました。

【ドイツパビリオンの核心:持続可能な未来への3つの柱】

パビリオンは「持続可能な未来」を強力に訴求する展示構成で、特に以下の3つのテーマが深く印象に残りました。

「いのちの完全循環」

自然界の完璧な物質循環(枯葉→分解→新たな生命の養分)をモデルに、人間社会も「廃棄物ゼロ」の循環型システムへ組み込まれるべきとのメッセージ。生分解性素材の応用や循環型都市計画の具体例が示され、環境問題への根源的解決策として哲学的かつ実践的なアプローチを強く感じました。

「エネルギー転換—2035年までに再生可能エネルギー100%へ」

洋上風力・太陽光に加え、地中熱・空気熱活用など地域資源を最大限活用する分散型エネルギーネットワークの構想を提示。2035年再生可能エネルギー100%という明確な目標と、それを支える技術力(水素社会実現に向けた最新研究等を含む)は、脱炭素社会実現へのドイツのリーダーシップと確固たる実行力を強く印象づけました。日本の産業界にも大いなる示唆を与える内容でした。

「自然と共生する暮らし」

個人・産業・社会が連携した変革の姿を、各地のモデルプロジェクトやサステナビリティ関連スタートアップの活躍を通して紹介。都市緑化、自然再生、持続可能素材を用いた建築・製品デザインなど、人間と自然が調和した「未来の現実」が具体的に示され、希望を感じさせる展示でした。

【日独交流のひととき】

見学後は、パビリオンラウンジにてドイツパビリオン・ディレクターのクリストファー・ヘッカー様ならびに在大阪・神戸ドイツ総領事のメラニー・ザクシンガー様より歓迎のご挨拶を賜りました。総領事様からは日独協会活動への謝意と期待が述べられ、大きな励みとなりました。懇談会では、ドイツビール、ワイン、本場のカーリーブルストを楽しみながら、総領事館関係者、近畿各協会の皆様と和やかに交流し、日独友好の絆を深める貴重な機会となりました。

【所感と結び】

国際博覧会という世界の舞台で、ドイツが提示する「持続可能な未来」への先鋭的かつ実践的なビジョンを体感できたことは、非常に意義深い経験でした。この貴重な機会を提供してくださった在大阪・神戸ドイツ総領事館様、および神戸日独協会を代表して参加する機会を賜りました枡田会長に、改めて深く御礼申し上げます。今回得た知見と感動を糧に、日独間の文化交流と相互理解の深化に、より一層努めてまいる所存です。

(本訪問は、近畿圏各日独協会の若手会員を特に招待したいとのザクシンガー総領事様のご意向を受けて、弊社では若手会員3名に参加していただきました。)

会 員 の 広 場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。今月は休載します。

投稿規定：1000字程度(字数を厳守)

MSPゴシック12ポイントのWordデータを第4月曜日までにメールでお送りください。

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

8月は引き続き、Schneewaltzer(雪のワルツ)、An die Freude(歓喜の歌、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)に加えて、Trink, trink, Brüderlein trink(いざ飲めや、兄弟よ)、In München steht ein Hofbräuhaus(ミュンヘンにはホーフブロイハウスがある)を歌います。

講 師：岩島 佳子さん

日 時：8月9日(土)14:30～16:00(時間変更しています)

場 所：神戸日独協会

参 加 費：2000円

参加条件：会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方もぜひご参加ください。

申込先

メール

info@jdg-kobe.org

TEL

078-230-8150(月～金14～17:00)

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加

の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。
8月はガラスコップを作成します。

講師：堀田真美子さん

日時：8月24日(日)14:00～16:00

場所：神戸日独協会

会費：1000円(材料費)

参加条件：会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	-----	---------------------------

第248回 ドイツ語談話室

日時：2025年6月21日(土)14:00～16:00

場所：神戸日独協会

テーマ：30年前の私たちの生活

今回の司会は原田耕作氏が担当し、30年前、つまり、1995年の生活を振り返った。1995年1月17日未明、5時46分52秒、阪神淡路大震災発生。神戸市を中心とした大災害が起きた。当時司会者は東京に住んでいて、1月17日には出張でソウルにいた。夕方帰国時ソウル空港で、日本の四国沖で大地震が起きた、との話を聞き、帰国して阪神淡路だと知った。

当時勤めていた会社の神戸支店が神戸市中央区にあり、建物が被災して避難した。神戸支店から飲料水の不足を聴き、ボトル入り飲み水を集めて送ったのを思い出す。

今回の談話室には初参加の方があったので、自己紹介して頂いた。アメリカ出身の方で、大阪に住んでおられるとの事。

次に参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

- 震災の日、3人の子供を含め家族でアパートに住んでいたが、窓ガラスも割れて飛び散り、ガス・水道・電気も止まり、厳しい寒さの中で本当に大変だった。
- 震災当時、神戸市北区に住んでいて、交通機関が被災して動かなかったため、自転車でポートアイランドにある勤務先まで通ったが、かなり厳しかった。
- 30年前は、ベルギーやドイツに住んでいたの、大震災は直接経験しなかった。
- 1995年にドイツから家族で帰国し、夫の勤務の関係で東京に住んでいた。3人の子供もいて大変だったが、自身も通訳の仕事をしていた。
- 30年前当時はまだメールやインターネットはなく、国際通信はTELEXで専門家のヘルプが必要だった。国際電話も高価で専門の交換台を通してだった。
- TELEXの費用を節約するため、送信内容に略号を使い、できるだけ短くするのに苦労した。例えば、YR MSG NTDは、Your Message Noted といった具合。
- 喫煙も当時はまだおおらかで、新幹線や航空機でも喫煙者スペースが設けられていた。
- 丁度30年前に大企業を定年で辞め、小企業に勤めたが、通勤に1時間もかかり大変だった。
- 以前の為替相場では、円がとても強い時代があり、ドルも100円以下で、安く海外旅行が楽しめた。当時の川柳でも、“100円でおつりが貰えるドル・ユーロ”と言われた。

— 以前は、病院にお見舞いに行くのに何の制限もなかったが、コロナ以降、入院患者のお見舞いも自由にできない。

第250回 ドイツ語談話室

今回のドイツ語談話室が第250回目となるのを記念して、神戸国際会館9Fの中華料理「點心茶室」で祝賀会を開催します。12:00~14:00、ランチタイムを皆様で過ごす予定です。

Protokoll der 248. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 21. Juni 2025, 14 bis 16 Uhr

Thema: Unser Leben vor 30 Jahren

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und blickte auf sein Leben vor 30 Jahren zurück, genau gesagt auf das Jahr 1995. Das große Hanshin-Awaji-Erdbeben ereignete sich am 17. Januar 1995 in den frühen Morgenstunden, exakt um 5 Uhr, 46 Minuten und 52 Sekunden. Kobe lag im Mittelpunkt dieser schweren Katastrophe. Der Gesprächsleiter lebte damals in Tokyo und war am 17. Januar gerade auf Geschäftsreise in Seoul. Als er des Abends dabei war, nach Japan zurückzukehren, hörte er am Flughafen Seoul, dass sich vor der Küste von Shikoku in Japan ein schweres Erdbeben ereignet habe. Als er wieder nach Japan zurückkam, erfuhr er, dass es sich dabei um das Hanshin-Awaji-Erdbeben handelte. Die Firma, für die er arbeitete, hatte eine Niederlassung im Bezirk Chuo der Stadt Kobe. Das Gebäude war schwer beschädigt. Er hörte vom Trinkwassermangel in Kobe und erinnert sich, wie er Trinkwasserflaschen beschaffte und verschickte.

Dieses Mal hatten wir einen neuen Teilnehmer, der sich allen vorstellte. Er kommt aus den USA und wohnt nun in Osaka.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

-Am Tag des Erdbebens lebte die Familie einer Teilnehmerin mit drei Kindern in einer Wohnung in Kobe. Die Fenster waren zerbrochen und zersplittert, Gas, Wasser und Strom waren unterbrochen, und die bittere Kälte machte der Familie schwer zu schaffen.

-Zum Zeitpunkt des Erdbebens lebte ein Teilnehmer im Bezirk Kita von Kobe. Da die Verkehrswege beschädigt waren und die öffentlichen Verkehrsmittel nicht funktionierten, fuhr er mit seinem Fahrrad zu seiner Arbeitsstelle auf Port Island, wo es aber auch schwere Schäden gab.

- Eine Teilnehmerin lebte damals in Belgien und in Deutschland und hat so das Erdbeben nicht direkt miterlebt.

- Eine andere Teilnehmerin kehrte 1995 gerade mit ihrer Familie aus Deutschland nach Japan zurück. Aufgrund der Arbeit ihres Mannes zogen sie nach Tokyo. Mit drei Kindern war es damals nicht einfach. Sie arbeitete als Dolmetscherin.

- Vor 30 Jahren gab es weder E-Mail noch Internet. Die internationale Kommunikation erfolgte über TELEX und bedurfte der Hilfe von Experten. Auslandsgespräche waren teuer und mussten über eine spezielle Telefonzentrale geführt werden.
- Um TELEX-Kosten zu sparen, verringerte man die Nachrichteninhalte und bemühte sich, alles so kurz wie möglich zu halten. Beispielweise stand YR MSG NTD für „Your Message Noted“ (Ihre Nachricht notiert)
- Rauchen war damals noch erlaubt, und selbst Hochgeschwindigkeitszüge und Flugzeuge hatten Raucherbereiche.
- Vor genau 30 Jahren ging einer der Teilnehmer bei der großen Firma, bei der er bis dato arbeitete in Rente und begann eine neue Arbeit bei einer kleinen Firma. Sein Arbeitsweg war jedoch beschwerlich und dauerte eine Stunde.
- Früher war der Yen sehr stark, der Dollar lag unter 100 Yen, sodass man günstig ins Ausland reisen konnte. Sogar Senryu (kurze meist satirische Gedichte, die dem Haiku ähneln) aus dieser Zeit sprechen davon, dass man mit 100 Yen bei Dollar und Euro noch Wechselgeld bekommt.
- Früher gab es keine Einschränkungen für Patientenbesuche im Krankenhaus. Seit COVID-19 können stationäre Patienten nicht mehr frei besucht werden.

Nächstes Treffen:

Samstag, 16. August 2025

Zur Gratulation der 250. malige Deutschen Gesprächsrunde veranstalten wir eine Feier bei der chinesisches Restaurant, „Ten Shin“ auf 9. Stock des Kobe International Haus. Die Feier beginnt um Mittag, 12 Uhr. und dauert Zwei Stunde.

8月の企画委員会休会のお知らせ

8月の定例開催日が「ビアフェスト2025」と重なりその準備のために休会します。

9月の委員会は定例通り開催いたしますので、ぜひとも参加し、協会の運営や企画などにご意見をください。ご出席いただける方はなるべく事前にご連絡ください。当日参加も可。

日 時 : 2025年9月13日(土)15:00~17:00

場 所 : 神戸日独協会

話 題 : 2025年度下半期の事業計画

神戸日独協会のお盆休み

神戸日独協会はお盆休みのため、8月12日(火)～8月15日(金)の間、閉室いたします。なお、この間ドイツ語講座もお休みになります。同期間は神戸リガッタ倶楽部も休館です。

Das Büro der JDG Kobe ist von 12. bis zum 15. August 2024 wegen der Sommerferien geschlossen.

会報ボランティア

会報は、6月より神戸日独協会にて印刷・封入・発送を行っています。

次号は8月28日(木)11～13:00の予定です。お手伝いいただける方は事前にご連絡ください。

行事等の写真について

会報には誌面の都合上、写真等は掲載できませんが、ホームページ・SNSでは覧いただけます。

 ホームページ Homepage	 インスタグラム Instagram	 X Twitter
--	--	--

イベントスケジュール

日 時	催 し	会 場	申込〆切
8月9日(土) 14:30～16:00	ドイツ歌声サロン	神戸日独協会	当日参加可
8月9日(土) 17:00～19:30	ビアフェスト2025	ステーキ&ビアレストラン 「ロイン三宮店」	定員になり次第締切
8月16日(土) 12:00～14:00	ドイツ語談話室 第250回記念祝賀会	神戸国際会館9F 「點心茶室」	8月8日(金)
8月24日(日) 14:00～16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会	当日参加可
9月13日(土) 15:00～17:00	企画委員会	神戸日独協会	当日参加可